

目白台インターナショナル・ビレッジ オールジェンダー居住エリアについて

1 目白台インターナショナル・ビレッジ「シェア型居室」の概要

目白台インターナショナル・ビレッジ（以下、「目白台ビレッジ」という）は、学生用居室の多くがシェア型居室で、概要は以下のとおりとなっています。

- ・居室内設備：洗面台、冷蔵庫、エアコン、机、椅子、ベッド（マットレス付き）、照明器具、カーテン、物干し竿
 - ・共用部設備：キッチン（ブロック内1カ所）、リビング・ダイニングスペース、シャワー（各ブロック4-5ブース程度）、トイレ（各階エレベータホールに1カ所、3-5ブース程度）、ランドリー（各階エレベータホールに1カ所、洗濯機・乾燥機各2台設置）、
- 宿舎バーチャルツアー https://spacely.co.jp/maicom-web/project_5450

それぞれのシェア型居室は個室仕様となっており、およそ20戸の個室ごとでキッチン・シャワー・トイレの水回り設備やリビング・ダイニングスペースを共用する「シェアブロック」を形成しています。これらシェアブロック内の共用設備に関しては、原則居住者同士が協力し合って自主管理することとなっています。また、日常生活において、困ったことや不明なことがあれば、同一フロア内に住んでいる宿舎レジデントアシスタント（宿舎RA）や、北棟居住の宿舎相談主事の先生方に相談することが可能です。

2 目白台ビレッジ「オールジェンダー居住エリア」の概要

目白台ビレッジのシェア型居室については、それぞれ女性フロアと男性フロアとが設けられていますが、オールジェンダー居住エリアのシェア型居室においては、性別・性自認を問わず、誰でも入居可能となっています。

目白台ビレッジのオールジェンダー居住エリアは、宿舎リニア棟の6階部分に位置しており、他のシェアブロック同様に共用設備として、キッチンやリビング・ダイニングスペース、シャワーが備わっているほか、各ブロック両側のエレベータホールには共用トイレとランドリーがそれぞれ設置されています。

また、オールジェンダー居住エリアの各居室外側のベランダには、プライバシー尊重のため、隣接居室との間に隔壁版が設けられています。

なお、オールジェンダー居住エリアへの立ち入りが認められるのは、当該エリアに居住している宿舎生のみで、同エリアの入居者同士であれば、互いのブロック間の行き来が自由*となっています。

※女性フロアと男性フロアの居住者については、同一フロア内であっても互いのブロック間の行き来はできません。

3 目白台ビレッジ「オールジェンダー居住エリア」における共用設備の詳細

オールジェンダー居住エリアの共用設備については、同エリア居住のすべての入居者が共用することとなります。以下、各設備ご利用にあたっての注意点・心がけについてまとめていますので、ご確認ください。

共用設備	概要	備考
リビング、キッチン ダイニングスペース	他のシェアブロックと同様に、宿舎生が調理や食事をしたり、寛いだりする場所であり、宿舎生間のコミュニケーションを図る場でもあります。使用後は、私物やごみ等を片付け、皆が気持ちよく使えるよう、常に心がけてください。	
シャワー	各ブロック内にユニットシャワーが 4-5 ブースあり、各自で内鍵をかけて利用します。各シャワーブース内には、緊急連絡用の非常用ボタンがありますので、予め設置場所についてご確認ください。	
トイレ	各ブロック両側のエレベータホールに、共用のトイレが 3-5 ブースずつあり、各自で内鍵をかけて利用します。各トイレの個室には、緊急連絡用の非常ボタンがありますので、予め設置場所についてご確認ください。また、同箇所のセキュリティー対策として、手洗い場に防犯カメラを設置しているほか、廊下側の外扉は視認性を高めるために、一部ガラス貼りとしています。	
ランドリー	各ブロック両側のエレベータホールに、洗濯機と乾燥機が各 2 台ずつあります（有料）。洗濯後は速やかに自分の洗濯物を回収し、皆が気持ちよく順番に使えるよう、心がけてください。	

4 申請にあたっての留意事項

上記の共用設備の特徴やオールジェンダーフロア導入の趣旨をよく確認し理解した上でオールジェンダー居住エリアの入居申請をしていただくようお願いします。

なお、入居者は「東京大学の D&I への理解を深めるための研修（仮称）」を受講していただきます。

(2025 年 5 月)